

勝林寺寺報

「わたし、このお婆ちゃん、とても奇麗だし、すばらしいおばあちゃん」だと見えて来たというのです。

主任の看護婦さんが教えて下さったと云います。

わたしの夫は、ご近所の火事のショックで、何の怪我をしたわけでもないのに、突然に植物人間になってしましました。いわゆる「生ける屍」で、二年間は病院でお世話になりましたが、保険も何もきませんので、あと二年は家で私が看病して、それで亡くなりました。四十八歳でした。

もとども、親の反対を押し切って一緒になつたのですからとはおもいまして、でもやっぱりこの看病はつろうございました。なにをどうして上げても、まったく反応がないのですもの。親切も誠意も真心も、全く通じませんで、なんともやり甲斐のない空しい毎日でした。

中学二年生の女の子が、こないだトライヤル・ウイークの話をしてくれて、わたし大変なショックを受けました。今までその衝撃の中でも泣きたい気持ちです。

と云うのは、こども（孫）は、養護老人ホームで、アルツハイマーのひとりのお婆ちゃんに出会ったのだそうです。その方は、全く意識も意欲もない、はためには完全な「生ける屍」だそうです。

しかし、こどもが云うのには、とてもとても奇麗なおばあちゃんで、もちろん表情も言葉もなく、なにして上げても全く反応がない。しかし、この子が云うのです。二日三日とお世話をしている内に、

— 私たちは、とかく、目に見えたり触れた
りする、そんな部分でしか見ていないけど、
ひとの命は、目にはみえない手には触れない
深いところでも生きているのかも知れないね
外に現れた病気の症状ばかりしか見えないの
では、本当の看病じゃないの。ホレ、金子
みすずさんの詩にあるじやーないの、『み
えないけれどもあるんだよ。みえないもので
もあるんだよ』

『生ける屍』たなで、そんなあさはかな、うわべの形ある部分でしか見ないで、ひとかど看病したつもりでいた私が、いまさらながら歎かれました。

トライアルは、こんなすばらしいものを、私たちに授けてくれました。

孫娘にも看護婦さんにも、手をあわせて感謝しております。

星とたんぽぽ
金子みすず

散つてすがれたたんぽぼの、
瓦のすきに、だアまつて、
春のくるまでかくれてる。
つよいその根は眼に見えぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。

永代經

古く中国から伝わったこの「永代（祠堂）」といふ當みは、まことに横着なそしていじましい儀礼でした。

七月のこよみ

竜大同窓会（奈良飛鳥）

清掃奉仕（午後2時より）

高福寺永代経
高福寺永代經

石組仙社遷盟松
会（長專寺）

九月八日
勝林寺永代經
勝林寺弘歸公會

十三日 橫山伸一 宅法事
十四日 楊口久郎宅去事

坪木隆晴氏宅法事

十六夜会定例法座

仏婦但馬プロツク研修会 (庄石町民センター)

一八日 勝如上人（光照前門主）葬儀
但馬ネットワーク

一十日 第3連区ビハーラ研修会（本山）
兼井儀正氏宅法事

十五日 朗読ボランティア（録音）

十六日 みのりを聞く会法座
十七日 ケアマネリセミナー

十八日 仏壯但丹地区研修会

十九日 あすなろ朗読研究会

